【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2005-171710(P2005-171710A)
【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2005-025
【出願番号】特願2003-416398(P2003-416398)
【国際特許分類】
Ｅ０５Ｂ　49/00　　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　25/00　　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　25/04　　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　25/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０５Ｂ　49/00　　Ｋ
Ｂ６０Ｒ　25/00　　６０６
Ｂ６０Ｒ　25/04　　６０８
Ｂ６０Ｒ　25/10　　６１７

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月14日(2006.12.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両に設けられた機能を稼動させるための指令信号を含んだ信号を送信する送信手段を備え、前記車両に設けられた機能を遠隔操作するための携帯用送信機において、
前記遠隔操作の対象となる機能には、少なくともドアのアンロック機能とトランクのアンロック機能とが含まれ、
前記ドアのアンロック機能を稼動させるための信号の到達距離よりも、前記トランクのアンロック機能を稼動させるための信号の到達距離が短くなるように、前記送信手段から送信される信号の到達距離を調整する第１の到達距離調整手段を備えていることを特徴とする携帯用送信機。
【請求項２】
車両に設けられた機能を稼動させるための指令信号を含んだ信号を送信する送信手段を備え、前記車両に設けられた機能を遠隔操作するための携帯用送信機において、
前記遠隔操作の対象となる機能には、少なくともエンジンの停止機能とエンジンの始動機能とが含まれ、
前記エンジンの停止機能を稼動させるための信号の到達距離よりも、前記エンジンの始動機能を稼動させるための信号の到達距離が短くなるように、前記送信手段から送信される信号の到達距離を調整する第２の到達距離調整手段を備えていることを特徴とする携帯用送信機。
【請求項３】
車両に設けられた機能を稼動させるための指令信号を含んだ信号を送信する送信手段を備え、前記車両に設けられた機能を遠隔操作するための携帯用送信機において、
前記遠隔操作の対象となる機能には、少なくとも前記携帯用送信機からの指令により強制的にアラームを発生させるパニック機能とドアのアンロック機能とが含まれ、

前記パニック機能を稼動させるための信号の到達距離よりも、前記ドアのアンロック機能を稼動させるための信号の到達距離が短くなるように、前記送信手段から送信される信号の到達距離を調整する第３の到達距離調整手段を備えていることを特徴とする携帯用送信機。

【請求項４】

車両に設けられた機能を稼動させるための指令信号を含んだ信号を送信する送信手段を備え、前記車両に設けられた機能を遠隔操作するための携帯用送信機において、

前記遠隔操作の対象となる機能には、少なくとも前記携帯用送信機からの指令により強制的にアラームを発生させるパニック機能とトランクのアンロック機能とが含まれ、

前記パニック機能を稼動させるための信号の到達距離よりも、前記トランクのアンロック機能を稼動させるための信号の到達距離が短くなるように、前記送信手段から送信される信号の到達距離を調整する第４の到達距離調整手段を備えていることを特徴とする携帯用送信機。

【請求項５】

前記遠隔操作の対象となる機能が、３機能以上であり、

前記第１～前記第４の到達距離調整手段が、前記送信手段から送信される信号の到達距離を少なくとも３段階に分けるものであることを特徴とする請求項１～４のいずれかの項に記載の携帯用送信機。

【請求項６】

車両に設けられた機能を稼動させるための指令信号を含んだ信号を送信する送信手段を備え、前記車両に設けられた機能を遠隔操作するための携帯用送信機において、

前記遠隔操作の対象となる機能が、３機能以上であり、

前記遠隔操作の対象となる機能に基づいて、前記送信手段から送信される信号の到達距離を少なくとも３段階に分けて調整する第５の到達距離調整手段を備えていることを特徴とする携帯用送信機。

【請求項７】

前記第１～前記第５の到達距離調整手段が、前記送信手段から送信される信号の電力強度を調整することによって、信号の到達距離を調整する機能を有していることを特徴とする請求項１～６のいずれかの項に記載の携帯用送信機。

【請求項８】

放射効率の異なる複数の送信アンテナを備え、

前記第１～前記第５の到達距離調整手段が、これら送信アンテナを切り換えることによって、信号の到達距離を調整する機能を有していることを特徴とする請求項１～７のいずれかの項に記載の携帯用送信機。

【請求項９】

電池容量を検出する電池容量検出手段と、

該電池容量検出手段により検出される電池容量に基づいて、電波の送信出力を低減する出力低減手段とを備えていることを特徴とする請求項１～８のいずれかの項に記載の携帯用送信機。

【請求項１０】

前記電池容量検出手段により検出される電池容量に基づいて、電波の送信出力が低減されていることをユーザーへ知らせる報知手段を備えていることを特徴とする請求項９記載の携帯用送信機。

【請求項１１】

請求項１、３、４、８、及び９のいずれかの項に記載の携帯用送信機から送信されてくる指令信号に基づいて、ドアのアンロック、及び／又はトランクのアンロックを制御する制御手段を備えていることを特徴とする処理装置。

【請求項１２】

請求項１、３、４、８、及び９のいずれかの項に記載の携帯用送信機と、

該携帯用送信機から送信されてくる指令信号に基づいて、ドアのアンロック、及び／又

はトランクのアンロックを制御する制御手段を備えた処理装置とを含んで構成されることを特徴とする遠隔操作システム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】携帯用送信機、処理装置、及び遠隔操作システム
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は携帯用送信機、処理装置、及び遠隔操作システムに関し、より詳細には、車両に設けられた機能を遠隔操作するための携帯用送信機、車両に装備される処理装置、及び前記携帯用送信機と前記処理装置とを含んで構成される遠隔操作システムに関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明は上記課題に鑑みなされたものであって、多数の機能に対して遠隔操作可能としながら、遠隔操作許容範囲が機能毎にそれぞれ適切に設定された携帯用送信機、処理装置、及び遠隔操作システムを提供することを目的としている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
以下、本発明に係る携帯用送信機、処理装置、及び遠隔操作システムの実施の形態を図面に基づいて説明する。図１は、実施の形態（１）に係る携帯用送信機を含んで構成される遠隔操作システムの要部を概略的に示したブロック図である。